

通し番号	4419
------	------

分類番号	21-2B-12-01
------	-------------

(成果情報名) 生食・調理加工兼用トマトF ₁ 品種「SPL25R」および「SPLG3」の育成
[要約] 果実が長円筒形のトマトF ₁ 品種「SPL25R」及び「SPLG3」を育成した。「SPL25R」は果色が濃桃色でアミノ酸及びリコペン含量が高く、「SPLG3」は果色が橙黄色でカロテノイド含量が高い。両品種とも糖含量は生食用品種と同等であり、生食・調理どちらにも適した品種である。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・野菜作物研究部、経営情報研究部 連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

促成～半促成作型を中心とした幅広い作型で栽培が可能で、直売に適した新規性の高い、かながわらしいトマトF₁品種の育成に取り組んだ。育成過程では、新規性のある果形と栄養成分としてのアミノ酸及びカロテノイド含量の高さに、また、栽培面では作りやすさを考慮してToMVや萎凋病等に対する病害抵抗性に着目して交雑・選抜を進めた(図1)。

[成果の内容・特徴]

- 1 「SPL25R」は濃桃色で長円筒形の果実を産するF₁品種で、着花数が多く、5～7果程度着果し、果実の揃いもよい。13～15段収穫では、1株当たり4～6kgの収量が得られる。果肉は鮮赤色で硬く、Brix、酸度は普通品種と同等で生食用として利用できる他、アミノ酸含量やリコペン含量が高いため、調理加工用にも適している(表1、2)。
- 2 「SPLG3」は橙黄色で長円筒形の果実を産するF₁品種で、着花数が多く、6～9果程度着果し、果実の揃いもよい。13～15段収穫では、1株当たり4～6kgの収量が得られる。果肉は黄色で硬く、Brixは普通品種と同等で生食用として利用できる他、アミノ酸含量が調理加工用品種と同等で、調理加工用にも適している(表1、2)。橙黄色のためリコペン含量は少ないが、その分プロリコペンを多く含んでいる(データは載せていない)。
- 3 両品種とも葉が濃緑で小さく、さっぱりした草姿であり、採光性が高い。無限成長型で草勢は安定しており、茎は細いが生育後半になっても樹勢は衰えず、安定して着果する。
- 4 両品種とも萎凋病抵抗性としてI₂、半身萎凋病抵抗性としてVe因子を有するとともに、ToMV抵抗性としてTm-2^a因子を有するので、Tm-2^a型に対応した多くの台木を利用することができる(表1)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 「SPL25R」および「SPLG3」ともに生食・調理兼用として利用可能である。
- 2 葉が小さくさっぱりとした草姿であるため株間25～30cmでの栽培が可能である。
- 3 両品種とも多肥、多灌水、寡日照条件下ではすじ腐れ果が、また、土壌水分が不足すると尻腐れ果が発生しやすいので灌水には十分な注意が必要である。
- 4 平成22年度から3年間、生産者の協力を得て現地試作を行い、実用性評価を行う。

[具体的データ]

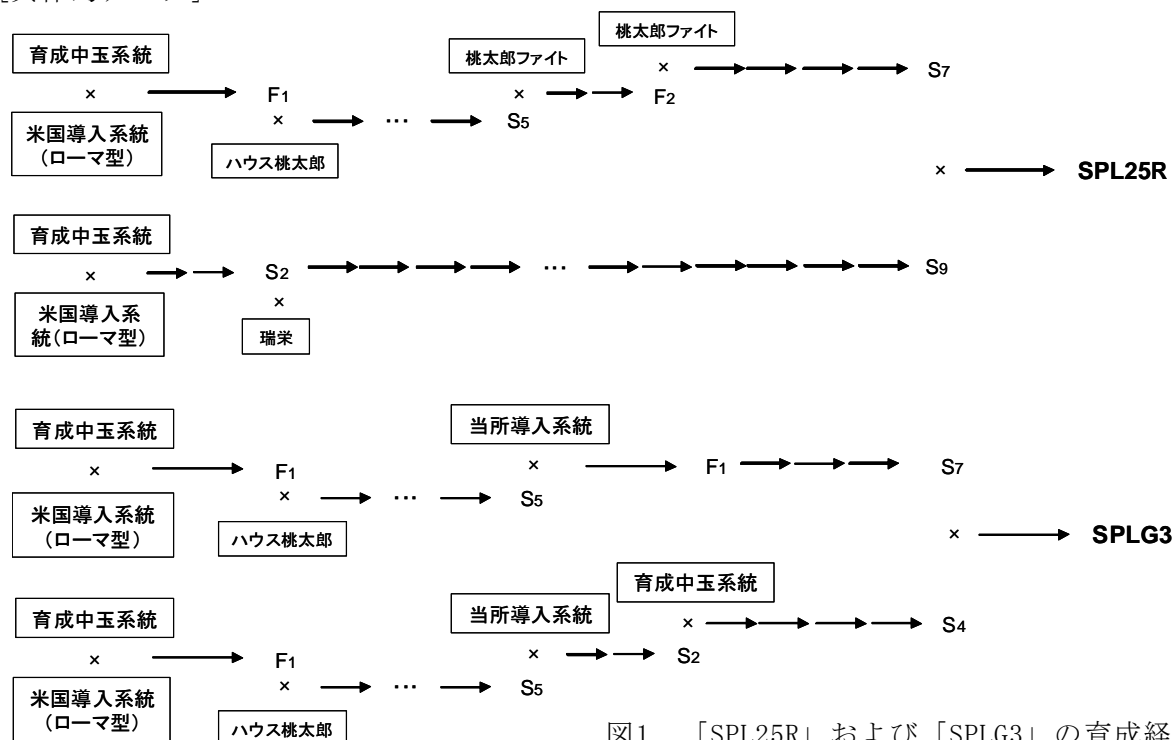


図1 「SPL25R」および「SPLG3」の育成経過

表1 促成作型における生育・収量特性

系統・品種	生育特性					収量特性				
	節間長 ¹⁾	葉の ²⁾		SPAD値	花数	草姿	総収量 ³⁾	1果重 ⁴⁾	上果収量	上果率
cm	長さ	幅	cm							
SPL25R	7.1	69	65	47.1	7.5	小葉・コンパクト	4.55	68	3.76	82.5
SPLG3	7.3	57	58	nd	7.8	小葉・コンパクト	5.19	69	4.80	92.4
ボンジョールノ	6.7	55	63	34.0	6.5	やや大葉・並	5.39	97	4.92	91.3
オスカー	6.2	62	68	40.4	7.6	大葉・密	6.50	71	4.53	69.7
ハウス桃太郎	nd	nd	nd	nd	4.8	中葉・並	7.39	149	4.32	58.4

定植時は2008/12/17、生育期は2009/2/18に調査、¹⁾第1～4段花房間の平均値、²⁾第4～5段花房間の葉の値。SPAD値は2006年の値。ndは調査せず。³⁾収穫期間は2009年3月4日～6月29日、⁴⁾上果平均果重。

表2 促成作型における果実・成分特性

系統・品種	果実特性				果実成分					
	果形	果実色	縦	横	糖度	クエン酸	Glu ¹⁾	全アミノ酸	リコペン	β-カロテン
			mm	mm	Brix %	%-FW	mg/100g	mg/100g	μg/100g	μg/100g
SPL25R	長円筒形	濃桃色	66	43	5.51	0.81	311	474	10,644	776
SPLG3	長円筒形	橙黄色	63	43	5.28	0.73	234	374	231 **	524
ボンジョールノ	砲弾形	橙色	65	52	5.42	0.78	250	391	11,497	526
オスカー	長円筒形	橙色	89	40	4.97	0.74	236	389	10,603	505
ハウス桃太郎	豊円	濃桃色	55	73	5.24	0.89	264	387	7,086	346 **

調査果実は2009年4月22日に収穫し、ndは調査せず。その日に調査を行った。¹⁾Glu: グルタミン酸、**は、SPL25Rの数値に対し、1%水準で有意差あり。

[資料名] 平成21年度試験研究成績書(野菜)

[研究課題名] 「トマトSPLトピックロス系統の促成作型における特性検定」「トマトSPLトピックロス系統における果実品質特性」

[研究期間] 平成7年度～

[研究者担当名] 保谷明江・北浦健生・吉田誠・曾我綾香・北宜裕